

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

平成28年3月30日

計画の名称		2 安全で安心な暮らしを実現するための基盤整備																
計画の期間		平成22年度	～	平成26年度	交付団体		(群馬県) 前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、草津町、玉村町											
計画の目標		地球温暖化による集中豪雨被害の深刻化への対応策として効果的な都市浸水被害軽減に資する施設整備を行い、都市浸水対策達成率の向上を図るとともに、合流式下水道による雨天時の公共用水域への汚濁負荷軽減により公共用水域の水質改善を図る。																
計画の成果目標（定量的指標）		<ul style="list-style-type: none"> 下水道における都市浸水対策の達成率を57% (H22) から62% (H26) に増加。 合流式下水道改善率を2% (H22) から100% (H25) に増加。 																
定量的指標の定義及び算定式		下水道による都市浸水対策達成率 (%) $= (\text{概ね5} \sim 10 \text{年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積}(\text{ha})) / (\text{都市浸水対策を実施すべき区域の面積}(\text{ha}))$ 合流式下水道改善率 (%) $= (\text{改善済み面積}(\text{ha})) / (\text{整備済み処理面積}(\text{ha}))$																
		当初現況値 (H22当初)			中間目標値 (H24末)			最終目標値 (H26末)			備考							
		56.3%		56.5%		57.1%												
全体事業費		合計 (A+B+C)		10,649	百万円	A	10,649	百万円	B	0	百万円	C	0	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%	
交付対象事業																		
A 下水道事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26			
1. 前橋市																		
A1-1-1	下水道	一般	前橋市	直接	-	雨水	新設	古市第二排水区	雨水管φ1.5×1.0m他 L=300m	前橋市							60	
A1-1-2	下水道	一般	前橋市	直接	-	雨水	新設	駒形第二排水区	雨水管φ1.8×1.8m他 L=830m	前橋市							280	
A1-1-3	下水道	一般	前橋市	直接	-	雨水	新設	駒形第二・第三排水区（雨水調整池）	集水面積46ha調整量7800m ³	前橋市							1,012	
A1-1-4	下水道	一般	前橋市	直接	-	雨水	新設	駒形第一排水区	雨水管φ1.3×1.3m他 L=590m	前橋市							120	
A1-1-5	下水道	一般	前橋市	直接	-	雨水	新設	大渡第一排水区	雨水管φ1350mm L=280m	前橋市							60	
A1-1-6	下水道	一般	前橋市	直接	-	雨水	新設	駒形第三排水区	雨水管φ1.4×1.4m他 L=300m	前橋市							60	
A1-1-7	下水道	一般	前橋市	直接	-	合流	新設	前橋処理区	雨水管φ1.0×1.0m他 L=680m 5箇所ΣV=6720m ³ 、スクリーン7基	前橋市							1,775	合流改善緊急事業
A1-1-8	下水道	一般	前橋市	直接	-	合流	新設	前橋水質浄化センター雨天時沈殿池	貯留量4000m ³	前橋市							1,330	合流改善緊急事業
A1-1-9	下水道	一般	前橋市	直接	-	合流	改築	中川ポンプ場（土木・建築・機械・電気）	雨天時最大18.0m ³ /分	前橋市							886	合流改善緊急事業
A1-1-10	下水道	一般	前橋市	直接	-	雨水	新設	蒼海排水区	雨水管φ1.0×1.0m他 L=680m	前橋市							100	
2. 高崎市																		
A1-2-1	下水道	一般	高崎市	直接	-	雨水	新設	鳥川右岸第8、8-1排水区（鳥川右岸雨水4号幹線）	雨水管φ2,200×1,800mm L=504m	高崎市							159	
A1-2-2	下水道	一般	高崎市	直接	-	雨水	新設	鳥川左岸第9排水区（鳥川左岸雨水8号幹線）	雨水管φ2,600mm L=340m	高崎市							577	
A1-2-3	下水道	一般	高崎市	直接	-	雨水	新設	佐賀野川第2排水区（佐賀野川雨水2-1号幹線）	雨水管φ900×800mm L=90m	高崎市							12	
A1-2-4	下水道	一般	高崎市	直接	-	雨水	新設	粕沢川第2-1排水区（粕沢川雨水1号幹線）	雨水管φ3,000mm L=90m	高崎市							83	
A1-2-5	下水道	一般	高崎市	直接	-	雨水	新設	井野川右岸第3、4排水区（井野川右岸雨水1号幹線）	雨水管φ1400mm L=85m、舗装復旧	高崎市							66	
A1-2-6	下水道	一般	高崎市	直接	-	雨水	新設	一貫堀川第7排水区（一貫堀川雨水6号幹線）	雨水管φ2,200mm L=60m	高崎市							53	
A1-2-7	下水道	一般	高崎市	直接	-	雨水	新設	一貫堀川第10排水区（一貫堀川雨水10-2号幹線）	雨水管φ800mmφ600mm L=410m	高崎市							43	
A1-2-8	下水道	一般	高崎市	直接	-	雨水	新設	粕川第2排水区（粕川雨水2-1号幹線）	雨水管φ3,600×2,500mm L=70m	高崎市							73	
A1-2-9	下水道	一般	高崎市	直接	-	雨水	新設	合流式区域（合流式区域幹線）	雨水管φ4100×2,000mm*2 L=30m	高崎市							15	
A1-2-10	下水道	一般	高崎市	直接	-	雨水	新設	高松排水区（高松雨水幹線）	雨水管φ1,200×900mm L=160m	高崎市							4	
A1-2-11	下水道	一般	高崎市	直接	-	雨水	新設	新町南排水区（神流川雨水1号幹線）	雨水管φ1,400×1,000mm L=370m	高崎市							53	
A1-2-12	下水道	一般	高崎市	直接	-	雨水	新設	鍛冶町排水区（鍛冶町雨水2号幹線）	雨水管φ1,350mm L=260m	高崎市							10	
A1-2-13	下水道	一般	高崎市	直接	-	雨水	新設	常盤雨水ポンプ場（用地）	ポンプ場用地 A=1,737㎡	高崎市							25	
A1-2-14	下水道	一般	高崎市	直接	-	合流	新設	城南雨水滞水池	集水面積559ha 貯留量15,000m ³	高崎市							274	合流改善緊急事業
A1-2-15	下水道	一般	高崎市	直接	-	合流	新設	高崎市合流改善事業	夾雑物等除去施設 5箇所	高崎市							46	合流改善緊急事業
A1-2-16	下水道	一般	高崎市	直接	-	雨水	新設	新町中、東排水区（鳥川雨水1号幹線）	雨水管φ1,500×2,500mm L=300m	高崎市							76	
A1-2-17	下水道	一般	高崎市	直接	-	雨水	新設	鳥川右岸第11、11-1、11-2排水区（鳥川右岸雨水7号幹線）	雨水管φ1,300×2,100mm L=90m	高崎市							40	
A1-2-18	下水道	一般	高崎市	直接	-	雨水	新設	鳥川左岸第11排水区（鳥川左岸雨水11号幹線）	雨水管φ2,800×2,400mm L=70m	高崎市							10	
3. 桐生市																		
A1-3-1	下水道	一般	桐生市	直接	-	雨水	新設	広沢排水区（広沢川10号雨水幹線）	雨水管φ1000mm×1000mm L=396m	桐生市							363	
A1-3-2	下水道	一般	桐生市	直接	-	合流	新設	桐生市合流改善事業	増補管φ450×φ1000mm L=820m	桐生市							225	合流改善緊急事業
4. 伊勢崎市																		
A1-4-1	下水道	一般	伊勢崎市	直接	-	雨水	新設	安堀排水区（安堀雨水幹線）	雨水幹線φ1100×900 L=360m	伊勢崎市							39	
A1-4-2	下水道	一般	伊勢崎市	直接	-	雨水	新設	北部排水区（雨水渠）	雨水渠φ1400×1200 L=400m	伊勢崎市							56	
A1-4-3	下水道	一般	伊勢崎市	直接	-	雨水	新設	南部排水区（雨水渠）	雨水渠φ1100×1100 L=45m	伊勢崎市							2	
A1-4-4	下水道	一般	伊勢崎市	直接	-	雨水	新設	東部排水区（雨水渠）	雨水渠φ1900×1900 L=60m	伊勢崎市							72	
A1-4-5	下水道	一般	伊勢崎市	直接	-	雨水	新設	西部第十排水区（西部第1雨水幹線）	雨水幹線φ3600×2000 L=30m	伊勢崎市							75	
A1-4-6	下水道	一般	伊勢崎市	直接	-	雨水	新設	西部第十排水区（西部第2雨水幹線）	雨水幹線φ1800×1700 L=20m	伊勢崎市							3	
A1-4-7	下水道	一般	伊勢崎市	直接	-	雨水	新設	赤堀排水区	雨水渠φ800×800 L=340m	伊勢崎市							33	
A1-4-8	下水道	一般	伊勢崎市	直接	-	雨水	新設	西川排水区	雨水渠φ600×600 L=300m	伊勢崎市							8	
A1-4-9	下水道	一般	伊勢崎市	直接	-	雨水	新設	境中央排水区	雨水渠φ1200×1200 L=440m	伊勢崎市							41	
A1-4-10	下水道	一般	伊勢崎市	直接	-	雨水	新設	境平塚排水区	雨水幹線φ1600×1600 L=270m	伊勢崎市							77	
A1-4-11	下水道	一般	伊勢崎市	直接	-	都下	新設	境南部都市下水路（境広瀬排水区）	都市下水路φ1000×1200 L=555m	伊勢崎市							35	
5. 太田市																		
A1-5-1	下水道	一般	太田市	直接	-	合流	新設	飯塚町滞水池	L=30m、W=20m、H=2.7m、V=1,600m ³	太田市							577	合流改善緊急事業
6. 沼田市																		
A1-6-1	下水道	一般	沼田市	直接	-	雨水	新設	片品川第2排水区（片品川1号幹線）	雨水管φ1,800mm L=400m	沼田市							100	
7. 館林市																		
A1-7-1	下水道	一般	館林市	直接	-	雨水	新設	館林市公共下水道（富士西幹線他）	雨水管φ2000×2000他、L=540m	館林市							309	
8. 渋川市																		
A1-8-1	下水道	一般	渋川市	直接	-	合流	新設	物開沢処理区（合流式下水道水質改善）	雨水吐室スクリーン設置 1箇所	渋川市							25	合流改善緊急事業
9. 藤岡市																		
A1-9-1	下水道	一般	藤岡市	直接	-	雨水	新設	中島排水区（中島1号雨水幹線他）	雨水管φ2800×2500mm他 L=600m	藤岡市							778	
A1-9-2	下水道	一般	藤岡市	直接	-	雨水	新設	藤岡市浸水対策事業	ハザードマップの検討	藤岡市							10	
10. 草津町																		
A1-10-1	下水道	一般	草津町	直接	-	雨水	新設	北部排水区（雨水Ⅲ号幹線）	雨水管φ1,500×1,600mm L=165m	草津町							55	
11. 玉村町																		
A1-11-1	下水道	一般	玉村町	直接	-	雨水	改築	滝川左岸排水区（雨水滝2号幹線）	雨水渠φ2000×1500他 L=160m	玉村町							35	長寿命化支援制度
A1-11-2	下水道	一般	玉村町	直接	-	雨水	新設	滝川左岸排水区（雨水滝3号幹線他）	雨水渠φ3500×1500他 L=1,100m	玉村町							665	
												合計			10,649			

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

平成28年3月30日

計画の名称	2 安全で安心な暮らしを実現するための基盤整備													
計画の期間	平成22年度	～	平成26年度	交付団体	(群馬県) 前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、草津町、玉村町									
計画の目標	地球温暖化による集中豪雨被害の深刻化への対応策として効果的な都市浸水被害軽減に資する施設整備を行い、都市浸水対策達成率の向上を図るとともに、合流式下水道による雨天時の公共用水域への汚濁負荷軽減により公共用水域の水質改善を図る。													
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 下水道における都市浸水対策の達成率を57%（H22）から62%（H26）に増加。 合流式下水道改善率を2%（H22）から100%（H25）に増加。 													
定量的指標の定義及び算定式	$\text{下水道による都市浸水対策達成率 (\%)} = \frac{\text{(概ね5～10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積 (ha))}}{\text{(都市浸水対策を実施すべき区域の面積 (ha))}}$ $\text{合流式下水道改善率 (\%)} = \frac{\text{(改善済み面積 (ha))}}{\text{(整備済み処理面積 (ha))}}$													
全体事業費	合計 (A+B+C)	10,649	百万円	A	10,649	百万円	B	0	百万円	C	0	百万円	効果促進事業費の割合 $C / (A+B+C)$	0.0%

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
-							-	-	-								
合計													0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			
-																	

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
-							-	-	-								
合計													0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			
-																	

その他関連する事業												
番号	事業種別	交付対象	要素となる事業名	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
					H22	H23	H24	H25	H26			
A'	0	百万円	B'	0	百万円	C'	0	百万円	効果促進事業費の割合 $(C+C') / ((A+A')+(B+B')+(C+C'))$	0	%	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況													
<ul style="list-style-type: none"> 過去に浸水被害が発生した箇所において、浸水被害が解消された。 公共用水域の水質が改善され、きょう雑物の削減が図られた。 													
II 定量的指標の達成状況													
指標①（下水道による都市浸水対策達成率）	最終目標値	57.1%	目標値と実績値に差が出た要因	・浸水被害の防止と軽減を図るため、効率的な事業を継続・実施したため。									
	最終実績値	59.0%											
	指標②（合流式下水道改善率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	・公共用水域の水質保全を早急に改善するため、緊急的に事業を実施したため。								
		最終実績値	100.0%										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）													

3. 特記事項（今後の方針等）												
<ul style="list-style-type: none"> 本計画完了後も、効果的な都市浸水被害の軽減・解消に資する施設整備を行い、更なる都市浸水対策達成率の向上を図る。 地球温暖化等を起因とした集中豪雨被害の深刻化を解消し、住民の安全安心な暮らしの実現のための事業を実施する。 												